

くるまざカフェ シンポジウム

ふくしま みち さがし

未来へ向かって
いま 私たちにできること。

震災から6年が経過する福島。

除染を経て、様々な地域・分野で一步步日常を取り戻す取組みがなされています。

これまでくるまざカフェでは、こうした取組みについて知り、考え、
昨年7月にワークショップを、11月に体験プログラムを実施しました。

今回は、これまでの経験をより多くの方と共有し、
未来のふくしまについて、みんなで考えていきます。

実施日 3月18日(土)12:45~16:30(受付開始12:20~)

会場 コラッセふくしま(4F多目的ホール)

参加費 無料

※"みち"とは、これまで知らなかったことの"未知"と、これからの福島の"道"の意味。

これまでのポジティブカフェをくるまざカフェ(くる、まざる等の意)と改め、昨年7月31日のオープンセミナーに参加された方々からのアイデアをもとに企画しています。

お申込みはコチラ(事前申込み制)

TEL:024-529-5668(受付10:00~17:00)

MAIL:josen-plaza@env.go.jp

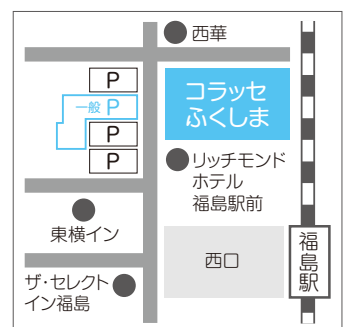
※お申込みの際には、お名前、お住いの市町村、年齢をお知らせください。

会場のご案内

JR福島駅西口より徒歩3分

※駐車場:コラッセふくしま有料駐車場利用
可30分まで無料、以降30分毎100円

〒960-8053 福島県福島市三河南町1-20



●主催:除染情報プラザ(福島県、環境省共同運営)

●協力:ONEふくしま(福島民報社・福島民友新聞社・福島テレビ・福島中央テレビ・福島放送・テレビユー福島・ラジオ福島・ふくしまFM)

くるまざカフェ シンポジウム プログラム

【第1部】トークセッション

これまでのワークショップと
体験プログラムを通して
知った、考えた、感じたことを共有します。

- ①「浜通りとあぶくまの森林里山のいまを知る」
ファシリテーター・越智小枝さん(相馬中央病院 内科診療科長)
- ②「食の安全対策とふくしまの美味しいものさがし」
ファシリテーター・開沼博さん(立命館大学 衣笠研究機構准教授)

■スピーカー(予定) 7月の「くるまざカフェ」で話題を提供していただいた方々/11月の体験プログラムに参加された方々



【第2部】「みちさがし」ワークショップ

ふくしまのこれからを
みんなで考えてみませんか。

会場内に、体験プログラムで訪れた場所のブースを5つ設置します。
参加者は関心のあるブースを回れます。各地域の課題や解決方法など
について、ワイワイと話をさせていただきます。

————— 〈7月のくるまざカフェ ワークショップの様子〉 —————



————— 〈11月の体験プログラムから〉 —————

① 農地(農業)再生



② 避難指示解除後のくらし



③ あぶくまの食文化とくらし



④ 里山再生と林業



⑤ 福島の果樹と酪農



これまでのくるまざカフェ活動について

●5月～ くるまざカフェ企画

福島において様々な地域再生活動に取り組む方々にご参加いただき、情報共有・発信のあり方について意見交換しました。その結果、関心のある方々が参加できるしくみ(くる、まざる)として「くるまざカフェ」が生まれました。



●7月 くるまざカフェ -ふくしま“みち”さがし-

放射線の不安と向き合いながら、日常を取り戻す取り組みを行っている方々を招き、話題提供していただきました。その後、来場者も含めてワークショップを開き、現地の状況を見たり聞いたりする体験プログラムを企画しました。



●11月 ふくしま“みち”さがし体験プログラム

7月に企画された体験プログラムを具体化し、2つのプログラムを実施しました。

「浜通りとあぶくまの森林里山のいまを知る」

期間: 11/5(土)～6日(日)(1泊2日)

人数: 11名+ナビゲーター・越智小枝さん

エリア: 飯館村～南相馬市原町区・小高区～

川内村～田村市都路町～三春町

「食の安全対策とふくしまの美味しいものさがし」

期間: 11/20(日)

人数: 27名+ナビゲーター・開沼博さん

エリア: 福島市内 果樹研究所～あんざい果樹園～

JAふくしま未来直売所～ささき牛乳

